**令和5年度第3回理事会議事録**

**令和5年12月4日（月）19：30～20：00　WEB開催**

当日参加　11名及び委任状29名による計38名の参加となり、全理事67名の過半数（半数34名）により理事会が成立した。他に執行部、特別役員から8名の参加があった。

**1.第18回定期総会の日程及び記念講演会について**

日程は5月11日(土)15：30、会場は医学部臨床講義棟１階に決定した。

記念講演会の講師は10月に医学部長に就任された西山成先生にお願いするという執行部案に決定した。総会のタイムスケジュールは、15：00から会長選挙公開開票、15：30～16：10　定期総会　16：30～　記念講演会（30分～1時間程度）とする。形式は対面で行う。懇親会は、記念講演の終了時間に合わせて開始時間を決定する。場所は検討中。

**2.国外留学助成金の審査・決定**

令和5年度第2回国外留学助成金の申請は、阪野太郎先生（平成27年卒）1件であり、西内学術局長により1次審査を経て規定通りの採択で問題ないことが平川会長から報告された。これを受けて理事会による2次審査が行われ、1件の限度額である250,000円満額が交付されることが決定した。

**3.県内卒業生による懇親会開催の件**

10月から新体制となった医学部と附属病院の執行部の就任挨拶も兼ねて、医学部や附属病院の状況を讃樹會会員にお伝えする機会を持つということで、医学部主催で県内の卒業生対象に懇親会の開催をしたく、案内に際しては同窓会のネットワークを利用し協力をいただきたいと星川広史副医学部長から説明があった。

懇親会の開催と、同窓会が積極的に協力していくということについて、理事会から賛同があり承認された。懇親会の開催時期等詳細は、調整後、アナウンスすることとなる。

**4.医学部長就任挨拶の一斉メール配信について**

　この件につき、西山成医学部長から説明があった。「医学部が50周年を迎えようとしており、老朽化し手狭になった校舎の再開発について文部科学省の承認がおり、6年間かけてようやく改修工事が行われることになった。文部科学省からの資金の不足分に対し、香川大学本体、県など様々なサポートをいただくが、それでも3億円から4億円が不足しており、寄附を集めなければ借金することが必要となる。しかしこの機会を香川大学医学部、香川医科大学をリニューアルするチャンスと考えており、医学部職員はもちろん、在校生の保護者など関係者の皆様に寄附をお願いすると共に、同窓会会員の皆様にも寄附をお願いしたい。ついては、同窓会に協力いただき、会員への『医学部開講50周年へむけて！記念特定基金趣意書』のパンフレットの郵送と、メール一斉配信に当たり、個人情報の利用という観点から理事会で審議いただきたい。パンフレットは2月の同窓会報に同封し、その後、メール配信を行いたい。何回も送ることになる際には、その都度、理事会で審議して承諾を得て送るようにしたい。」

これについて理事の賛同があり、承認された。

**5.学生支援（競争的資金）追加審査**

8月の第2回理事会で2件の申請が採択されているが、IFMSAKから2月に来学する留学生との交流も含めて活動支援の希望があり追加申請があった。年間5件の予算で残り3件の残り枠があることと、学生支援という本事業の目的から、追加交付が承認された。

**6.その他**

①三木崇範教授から、島田眞久名誉教授から医学部図書館に蔵書の寄贈があり、その折の島田先生と旧交を温めたことや、医学部にまつわる貴重なエピソード等について、次号同窓会報に寄稿いただけることとなった。

②平川会長から、「医学部から50周年記念特定基金への寄附の依頼が団体としての讃樹會に対してもあり、寄附を検討したいと考えている。また、図書館前の中庭に新棟が建設され、その２階に学生のみならず卒業生も自由に交流できるホールが予定されており、例えばホール名を讃樹會の名前を入れる提案も出ている。寄附の額など、次回の執行部会や理事会で、あるいは来年度総会に向けて検討していければと考えている。そのためにも、予算の不足額や、寄附の状況などの具体的な情報の共有をお願いしたい」との話があった。